

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第22週の発生動向

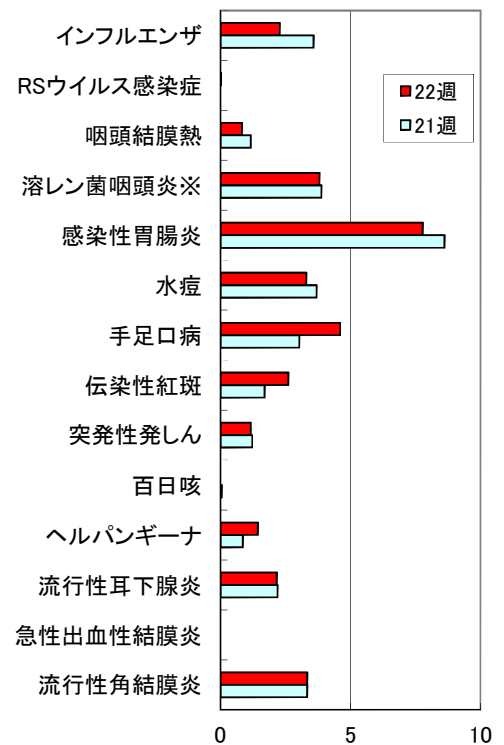
定点医療機関からの報告総数は1,154人（定点あたり33.4）で、前週比99%とほぼ横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱であった。

伝染性紅斑の報告数は94人（2.6）で前週比154%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（0.37）の約7.1倍と多い。延岡（5.3）、日南（3.7）、高鍋（3.5）、都城（2.7）、宮崎市（2.4）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から6歳で全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は166人（4.6）で前週比152%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（3.5）の約1.3倍と多い。延岡（14.8）、日向（12.3）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約8割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年齢分布
	開始基準値	宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.8	高千穂(21.0)、延岡(11.8)	3歳～7歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	7.8	小林(20.0)	1歳～5歳で全体の約6割を占めた。
水痘	7	3.3	小林(8.7)	1歳～3歳で全体の約7割を占めた。
手足口病	5	4.6	延岡(14.8)、日向(12.3)	1歳～3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.6	延岡(5.3)、日南(3.7)、高鍋(3.5)、都城(2.7)、宮崎市(2.4)	3歳～6歳で全体の約半数を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6 例が都城 (3 例)、宮崎市・高鍋・小林 (各 1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・40 歳代の女性で無症状病原体保有者。
 《都城保健所》・90 歳代の女性で疑似症患者。痰がみられた。
 ・70 歳代の男性で肺結核及びその他の結核 (結核性胸膜炎)。咳がみられた。
 ・50 歳代の女性で肺結核。咳、体重減少がみられた。
 《高鍋保健所》・70 歳代の女性でリンパ節結核 (右・左)。表在リンパ節 (頸部) 腫脹がみられた。
 《小林保健所》・70 歳代の女性で肺結核。咳、痰、発熱、呼吸困難がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。4 歳の男児で無症状病原体保有者。原因菌は O121 (VT2 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○アメーバ赤痢 2 例が宮崎市・日南 (各 1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・50 歳代の男性で腸管アメーバ症。潰瘍がみられた。
 《日南保健所》・40 歳代の男性で腸管アメーバ症。しぶり腹、鼓腸がみられた。
 ○梅毒 1 例が小林保健所から報告された。40 歳代の男性で早期顕症梅毒 (I 期)。初期硬結、硬性下疳がみられた。
 ○破傷風 2 例が宮崎市保健所から報告された。
 ・70 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、易興奮性がみられた。
 ・50 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣、反弓緊張がみられた。

■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

□ ウイルス (平成 23 年 5 月 24 日～平成 23 年 6 月 6 日までに検出)

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床診断名	材料	検出日
インフルエンザ AH3 型	6	女	5.29	A 型インフルエンザ、40.0℃、熱性けいれん	咽頭ぬぐい液	5.31
ノロウイルス G II 型	8	女	6.2	感染性胃腸炎、38.3℃、下痢、気分不良	便	6.2
コクサッキーウイルス B1 型	8M	女	4.8	脳症 (アデノウイルス疑い)、40.0℃、下痢、意識障害、けいれん、脳症	便	6.6

○感染性胃腸炎の小児からノロウイルス G II 型が検出された。

○アデノウイルス脳症疑いの乳児からコクサッキーウイルス B1 型が分離された。2009 年に分離されて以来、2 年ぶりであった。なお、コクサッキーウイルス B1 型は、本県では 1993 年～2008 年の 16 年間分離されていなかった。

○A 型インフルエンザの小児からインフルエンザ AH3 型が検出された。

□ 細菌（平成 23 年 5 月 24 日～平成 23 年 6 月 6 日までに検出）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
腸管出血性大腸菌(O121:HUT VT2)	0～4	女	2011.5.24	EHEC疑い		2011.5.31

■ 全国第 21 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 16.5 で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

水痘の報告数は 6,119 人 (2.0) で、前週比 125%と増加した。福井県 (4.4)、鳥取県 (3.8)、宮崎県 (3.7) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 1,651 人 (0.53) で、前週比 110%と増加した。佐賀県 (1.6)、富山県 (1.5)、福井県・滋賀県 (1.3) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

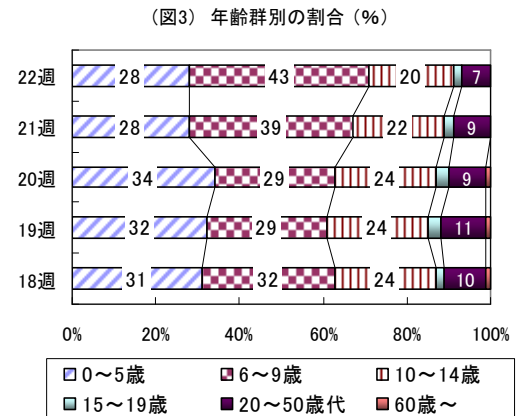
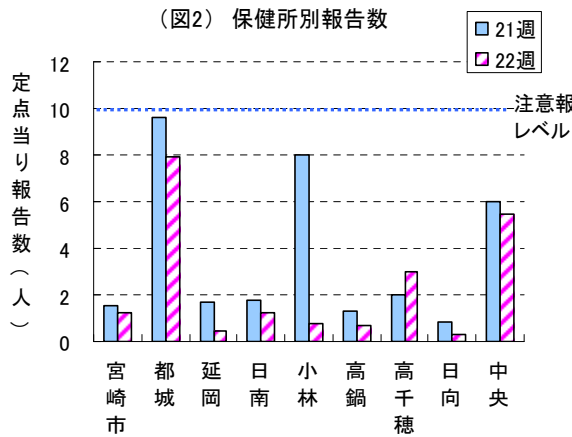
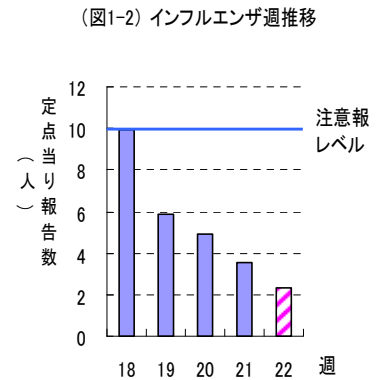
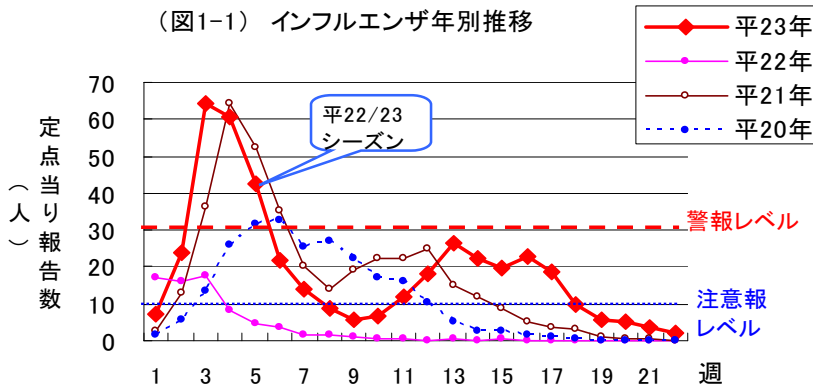
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 429 例
- 3 類感染症 : コレラ 1 例、細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 49 例
- 4 類感染症 : つつが虫病 12 例、デング熱 1 例、日本紅斑熱 5 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 7 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 4 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、後天性免疫不全症候群 10 例、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例、梅毒 8 例、破傷風 2 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 13 例、麻疹 18 例

■ インフルエンザ情報《県内第 22 週、全国第 21 週（再掲）》

□ 県内第 22 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 5 月 30 日～6 月 5 日までの 1 週間で 135 人（定点あたり 2.3）の報告があり、前週と比べ 64%と減少した（図 1-1,2）。都城（7.9）、中央（5.5）、高千穂（3.0）保健所からの報告が多かった（図 2）。年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6-9 歳が 43%、10-14 歳が 20%、15-19 歳が 2%、20 歳以上が 7%を占めた（図 3）。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、— 警報・注意報レベルなし

保健所	今週（第22週）		1週前（第21週）		2週前（第20週）		3週前（第19週）		4週前（第18週）		5週前（第17週）	
	5/30～6/5		5/23～5/29		5/16～5/22		5/9～5/15		5/2～5/8		4/25～5/1	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	1.3	—	1.6	—	1.7	—	4.2	—	7.6	—	17.3	△
都城	7.9	—	9.6	—	10.1	△	7.7	—	15.5	△	26.8	△
延岡	0.4	—	1.7	—	5.9	—	6.3	—	16.4	△	26.9	△
日南	1.2	—	1.8	—	2.6	—	5.0	—	6.8	—	16.0	△
小林	0.8	—	8.0	—	7.6	—	4.2	—	4.8	—	8.6	—
高鍋	0.7	—	1.3	—	1.5	—	5.2	—	7.0	—	12.5	△
高千穂	3.0	—	2.0	—	6.5	—	3.0	—	3.0	—	2.0	—
日向	0.3	—	0.8	—	4.3	—	10.7	△	12.8	△	24.5	△
中央	5.5	—	6.0	—	12.0	△	6.5	—	4.0	—	7.5	—

□ 全国第 21 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 5 月 23 日～5 月 29 日までの 1 週間で 5,415 人（1.1）の報告があった。前週の 69%と減少した。沖縄県（15.7）、佐賀県（5.1）、宮崎県（3.6）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 25%、6-9 歳が 32%、10-14 歳が 25%、15-19 歳が 5%、20-50 歳代が 11%、60 歳以上が 2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第22週(05月30日～06月05日)

疾病名		第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	211	135	20	79	3	6	4	4	6	2	11
	定点あたり	3.58	2.29	1.25	7.90	0.43	1.20	0.80	0.67	3.00	0.33	5.50
RSウイルス 感染症	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	42	30	4	4	11	5		1		5	
	定点あたり	1.17	0.83	0.40	0.67	2.75	1.67	0.00	0.25	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	140	137	23	11	47	11	2	9	21	8	5
	定点あたり	3.89	3.81	2.30	1.83	11.75	3.67	0.67	2.25	21.00	2.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	310	280	50	50	11	35	60	23	6	39	6
	定点あたり	8.61	7.78	5.00	8.33	2.75	11.67	20.00	5.75	6.00	9.75	6.00
水痘	報告数	133	119	35	19	22	1	26	4		11	1
	定点あたり	3.69	3.31	3.50	3.17	5.50	0.33	8.67	1.00	0.00	2.75	1.00
手足口病	報告数	109	166	22	14	59	4		13	4	49	1
	定点あたり	3.03	4.61	2.20	2.33	14.75	1.33	0.00	3.25	4.00	12.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	61	94	24	16	21	11		14		7	1
	定点あたり	1.69	2.61	2.40	2.67	5.25	3.67	0.00	3.50	0.00	1.75	1.00
突発性発しん	報告数	44	42	8	8	6	6	4	5		4	1
	定点あたり	1.22	1.17	0.80	1.33	1.50	2.00	1.33	1.25	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	31	52	5	6	15	1		4		21	
	定点あたり	0.86	1.44	0.50	1.00	3.75	0.33	0.00	1.00	0.00	5.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	79	78	41	4	9	14	1	4	4	1	
	定点あたり	2.19	2.17	4.10	0.67	2.25	4.67	0.33	1.00	4.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	20	16	2	2						
	定点あたり	3.33	3.33	5.33	1.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～22週)

2類感染症	結核	121例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	日本紅斑熱	1例
	アメーバ赤痢	7例(2)	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
5類感染症	髄膜炎 菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	6例	梅毒	4例(1)
	破傷風	5例(2)	風しん	1例	麻しん	1例

●動物感染症累積報告数(2011年1週～22週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲